



令和7年度 さむかわ学びっ子育成事業

<研究テーマ> 確かな学力を身につける教育の推進 ~豊かな心と確かな力 瞳輝く寒川の子~

寒川町では、「主体的・対話的で深い学びのある授業」の実現に向けて、各学校で講師を招聘し、校内研究について御指導をいただいております。小・中全8校というスケールメリットを生かして、校内研究における公開講演会・授業研究会を開催し、実践についての交流を図っています。令和7年度につきましても、校内研究を柱とした「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の実現に向けて、各校での研究に生かすことができるように取り組みました。

寒川 小学校

今年度も算数科の単元または授業で「何を学んだのか」、「何を身につけたのか」が実感できるような学習を目指して研究を行いました。子どもの学習意欲が湧きたつような授業を通して学習目標を達成できるように、子どもの心が揺れ動く発問「はてな？」を工夫し、「なるほど!」につながる授業づくりに取り組みました。

一之宮 小学校

これまで研究テーマとしてきた道徳を「考え、対話する」道徳へと発展させることで、「対話を通して、さらに考えを深める子」を目指しました。低学年は「対話を通して、考えを伝え合う」、中学年は「対話を通して考えを深め、自己を見つめ直す」、高学年は「対話を通して考えを深め、自他の考えを認め合う」を重点課題としました。

旭 小学校

昨年度から研究テーマとしたICTの活用を進めるとともに、主体的・協働的に学ぶことができる授業づくりを目指しました。児童が学びに向かって対話をしていくためにはどんな工夫が必要か、児童が関わり合いながら考えを深めるための働きかけに何が足りないか等、改めて現状を見直しながら研究に取り組みました。

小谷 小学校

算数科で「学んだことが実生活につながっていることを実感できるような授業づくり」の研究に取り組みました。昨年度に引き続き「問いがにつながる」授業づくり、そして1年生から6年生までの系統性、を大切にしました。研究内容が日常の授業へ波及するように、児童の発想を生かしながら授業づくりに取り組みました。

南 小学校

国語科の学習において、子どもたちの中に生じる考えの「ずれ」をもとに、話し合いをしながら自分の考えを広げ、深める研究を行いました。自分の考えを「持つ」、「広げる」という昨年度までの取り組みに続いて、今年度は考えを「深める」に焦点を当てるとともに、授業を通して子どもたちを変える、授業づくりを進めました。

寒川 中学校

昨年度より生徒の「自己肯定感」を高めることを目指して研究に取り組んできました。今年度は、「自分なりにできるようになった」という自己達成感にテーマを絞り、活気に満ちた生徒を育てることを目指しました。具体的な手立てとして、授業場面における「グループ活動」に着目し、効果的なフィードバックの工夫などに取り組みました。

旭が丘 中学校

昨年度に引き続き、「自己肯定感を高める支援のあり方」について研究を進めました。「ポジティブ行動支援(PBS)」の考えに基づいた指導法を、昨年度実践した特別活動だけでなく、授業や学校生活の様々な場面に応用していく中で、生徒たちのキャリア発達を促し、「生きる力」の育成に取り組みました。

寒川東 中学校

今年度から、新たなテーマ「安心して過ごせる学校を目指して」を設定して研究を進めました。心理的安全性につながる、生徒たちが「安心して発言・挑戦できる授業」「落ち着きと秩序のある教室環境づくり」を目指して、授業改善と学級経営を通して生徒・教職員ともに支え合う関係づくりについて、実践と考察を重ねました。